

# 輸血を支えているのは 善意の献血です

# いのちをつないだ献血 「アンパンマンのエキス」

「献血してくれた人たちにありがとうの気持ちを伝えたい」と、小児がんとたたかったある男の子のお母さんが日本赤十字社の献血ルームにメッセージを残しました。病気の治療に使われる血液は、献血によってまかなわれています。献血者が減少する傾向にある近年ですが、その善意がなければ、日本の医療そのものが成り立たなくなってしまうと言っています。

## 過酷な治療を支えた輸血

ある男の子の闘病記

4歳の男の子にとって、10月も切取れない。壮絶な闘病生活は、もう1年ほど続きました。手術を待つ間、何の治療もありません。1年は越せない、闘病生活が1999年秋、その闘病の大きさに細胞の損傷検査をした医師も驚くほどの小児がんでした。抗がん剤で縮小させたから、体の弱さを心配して、起き上が



神戸・三宮センタープラザ献血ルームでの成分献血の様子(1月27日から「ミント神戸」15階へ移転)

がなくなるほどぐったりし、嘔吐を繰り返しました。がん細胞と同時に正常な細胞が壊れ、これが原因で死亡する可能性もありました。その時に必要となったのが輸血でした。10カ月の間に受けた輸血は50回を超え、1回の輸血で献血者8人分の血液が必要もありました。

## 保存がきかない血液

白球の数がゼロに近い。この時、体調は最悪です。でも「アンパンマンのエキス」を注ぎ、元気を取り戻しました。一度、病院への血液の到着が遅れました。この時、その間に、おにぎりをたくさん食べて、おにぎりが公認の「アンパンマン」のエキス(インナーネット)の日記に「おにぎり」を書いておきました。

## ありがとうの気持ちがあふれ

2001年7月、りょうすけくんはなりました。この間に1度、1カ月の間の外出が許され、りょうすけくんは父と母、妹と楽しい時間を過ごしました。抵抗力が落ちていたため、りょうすけくんは外出先で、おにぎりをたくさん食べて、おにぎりが公認の「アンパンマン」のエキス(インナーネット)の日記に「おにぎり」を書いておきました。



りょうすけくんと妹のなつちゃん

## 呼びかけに応え緊急の協力も

### 血液事業を支える人たち ①

#### 企業や公共団体



街頭イベントでの献血会場

寒くなり風邪も流行する冬場は例年、全国的に血液不足に陥ります。日赤では各血液センターが平日に供給する血液(赤血球)の3日分を「適正在庫」として、1週間以上は在庫切れに陥り、緊急の輸血が必要になります。この冬も例年同様、血液不足に陥る恐れがあります。この冬も例年同様、血液不足に陥る恐れがあります。この冬も例年同様、血液不足に陥る恐れがあります。

冬は例年、全国的に血液不足に陥ります。日赤では各血液センターが平日に供給する血液(赤血球)の3日分を「適正在庫」として、1週間以上は在庫切れに陥り、緊急の輸血が必要になります。この冬も例年同様、血液不足に陥る恐れがあります。この冬も例年同様、血液不足に陥る恐れがあります。この冬も例年同様、血液不足に陥る恐れがあります。



学生献血ボランティアが企画した献血の呼びかけ

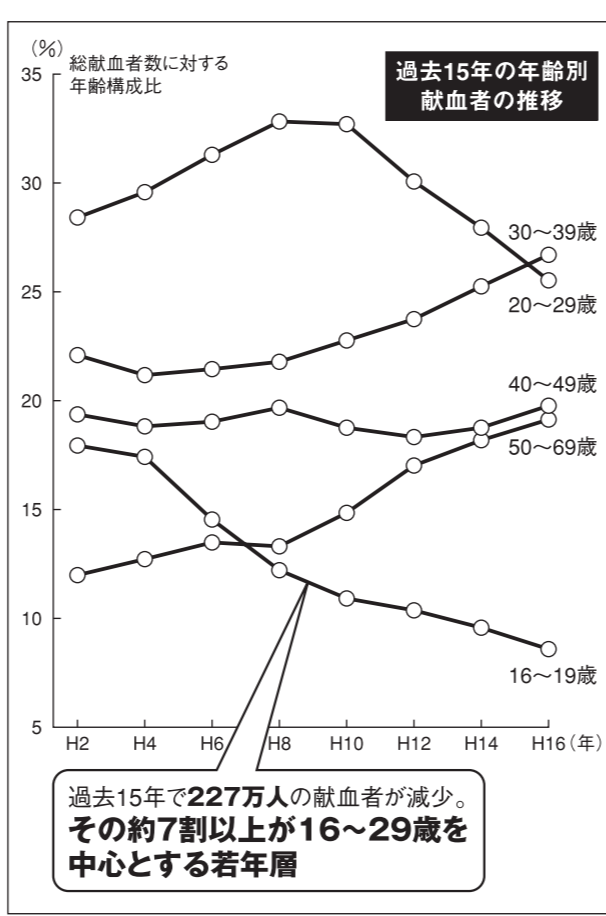
### 血液事業を支える人たち ②

#### 献血募集呼びかける学生団体も

献血募集を行うのは日本赤十字社の役割の一つですが、各血液センターの職員が、ボランティアの存在が欠かせません。大学生では全国学生献血推進協議会実行委員会がさまざまなキャンパス活動を展開し、若年層の献血者減少傾向の中で、その活動に大きな期待が寄せられています。この12月には恒例の「ナリ

#### ボランティア

献血募集を行うのは日本赤十字社の役割の一つですが、各血液センターの職員が、ボランティアの存在が欠かせません。大学生では全国学生献血推進協議会実行委員会がさまざまなキャンパス活動を展開し、若年層の献血者減少傾向の中で、その活動に大きな期待が寄せられています。この12月には恒例の「ナリ



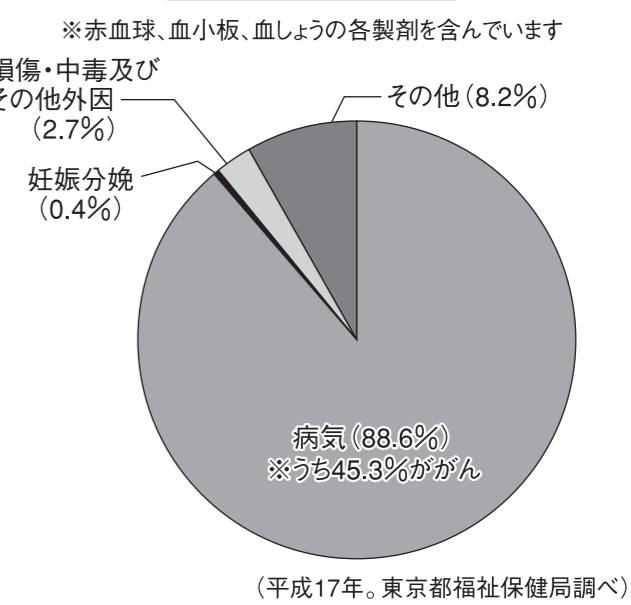
過去15年で227万人の献血者が減少。その約7割以上が16~29歳を中心とする若年層

献血募集を行うのは日本赤十字社の役割の一つですが、各血液センターの職員が、ボランティアの存在が欠かせません。大学生では全国学生献血推進協議会実行委員会がさまざまなキャンパス活動を展開し、若年層の献血者減少傾向の中で、その活動に大きな期待が寄せられています。この12月には恒例の「ナリ

## がん治療にもっとも必要とされる輸血

交通事故など不慮の災害などの時に輸血は必要です。一般にそのイメージが強くなりますが、実際の血液の使われ方では意外にも事故は少なく、もっとも輸血が必要な場面は病気の治療です。病気のうち半分ががん治療で、りょうすけくんがたたかった神経芽細胞腫もその一つでした。

#### 輸血の使用状況



(平成17年。東京都福祉保健局調べ)